

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A107	ハングル I (Korean I)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	前期	木1	全 紅女 内線： E-mail：

【授業の概要・到達目標】

本講義では基礎ハングルを学習し、日常生活での簡単なコミュニケーションができるようにする。
動詞、形容詞の活用の仕組みを覚え、助詞の使い方を活用して簡単な文章が作れるようになる。
ペアでの会話練習を取り入れ、発音変化の規則を理解できるようにする。
ハングルで医学分野での用語、簡単な会話なども取り入れてグローバル化意識を図る。
ハングル能力検定試験初級レベルの語彙など、身近な語彙を覚え、簡単な会話ができるようになる。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. ハングル子音、母音の読み書きができる。		○				
2. ハングルの発音変化―連音化について理解できる。		○				
3. ハングル能力検定試験5級レベルの語彙を身につくことができる。		○				
4.						

【授業の内容】

1	ハングルについて紹介 (ハングルの由来、ハングルを使う国、文化などを説明)
2	子音、母音について (ハングルのローマ字表記と読み方)
3	ハングルの書き方 (日本語との相違点)
4	ハングルの独特の書き方―ハッチム (ハッチムによる発音の変化)
5	練習 (一)
6	基本語彙、基礎文法 (自己紹介、挨拶、職業、お国)
7	動詞、形容詞、形容動詞
8	平叙文と疑問文について
9	否定文と肯定文について
10	敬語について
11	練習 (二) 課題発表、ハングル能力検定試験練習問題など
12	動詞の活用
13	形容詞、形容動詞の活用
14	課題発表
15	まとめ

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	課題発表、課題提出
B：意見の表現・交換		
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	与えられた課題について調べ、まとめたりする。(10h)
事後学修	授業で学んだ内容について発音練習をする。(5h)

【教科書】

教科書は指定しない。授業中に配布するプリントや小冊子を使用する。

【参考書】

参考資料などは、授業中に提供する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
課題発表、小テスト、課題提出、レポートなど	50%	○	○	○	
期末試験	50%	○	○	○	

【注意事項】 全ての評価割合の結果を数値化して最終的に成績評価を決定するので、与えられた課題をこなすこと。

【備考】 上記の「授業の内容」は講義の進み方により、変更される可能性がある。

教員の実務経験の有無	有
教員の実務経験	大分大学・経済学部にて講義
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無
教員以外の指導に関わる実務経験者	
実務経験をいかした教育内容	「応用ハンゲル I、II」講義、「ハンゲルとその文化 I、II」講義
授業形態	面接授業